

日時：令和3年6月5日(土)から6月10日(木)

理事数：19名(理事定数10名以上20名以内、定款第11条)

出席理事：19名 坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、坂口みどり、市野直浩、小野川傑、齋藤良一、吉田祥子、井口文子、中前雅美、野島順三、古閑公治、松林こずえ、山口聡、高崎昭彦、目黒玲子、關谷暁子、大瀧博文、高田智世

出席監事：2名 齋藤邦明、上原昭浩

#### 審議事項

令和2年度第5回理事会で臨地実習指導者育成協議会を日臨技と共同設置が承認され、その上で作成された以下の事項につき、理事長より事前説明会がWebexにてあり、説明会へ参加できなかった理事には個別に理事長が説明を行った。その後、メールにて審議がなされた。

#### 第一号議案 臨地実習指導者講習会運営に関して

1. 臨地実習指導者講習会に関する覚書き
2. 臨地実習指導者講習会運営経費
3. 臨地実習指導者講習会開催要領
4. 臨地実習指導者講習会後援依頼

臨地実習指導者講習会運営経費及び臨地実習指導者講習会開催要領では、非加盟校への対応が指摘され今後の課題となるが、臨地実習指導者講習会運営そのものは承認を得た。

尚、理事長は5月24日に就任後から、脱会した2校へ再加盟の連絡を行っている

#### 第二号議案 臨地実習指導者講習会 参加費について

本来は臨床検査技師個人が参加費(受講費)を支払うものであるが、臨地実習を確実に進めるよう日臨教で負担すること意義が審議された。

意見は多数だったが、2022年入学者が臨地実習を行う2024年4月以降に臨地実習を確実に進めるよう、2024年3月末までを目処とし、1施設/1名について臨地実習指導者講習会受講費を臨地実習施設助成費として日臨教が助成に際し、理事会の承認を得た。

加盟校へ行った令和2年度末のアンケート調査では74%の回収率で臨地実習を824施設で行っていた。未回答校からの施設数予測及び日臨技独自の調査から実際には1200施設で臨地実習を実施していることから、約1200施設から1名分の受講料3,000円で総額360万円が助成総額予定である。この金額の負担方法について今後さらに審議することとなった。

#### 第三号議案 臨地実習指導者講習会ワーキンググループ発足について

臨地実習指導者講習会の運営を本格化させるため、臨地実習指導者講習会ワーキンググループの発足が異議なく承認された。

令和3年6月11日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印